

ESG金融とSDGs

2018年3月15日



執行役員産業調査本部副本部長兼
経営企画部サステナビリティ経営室長
竹ヶ原 啓介

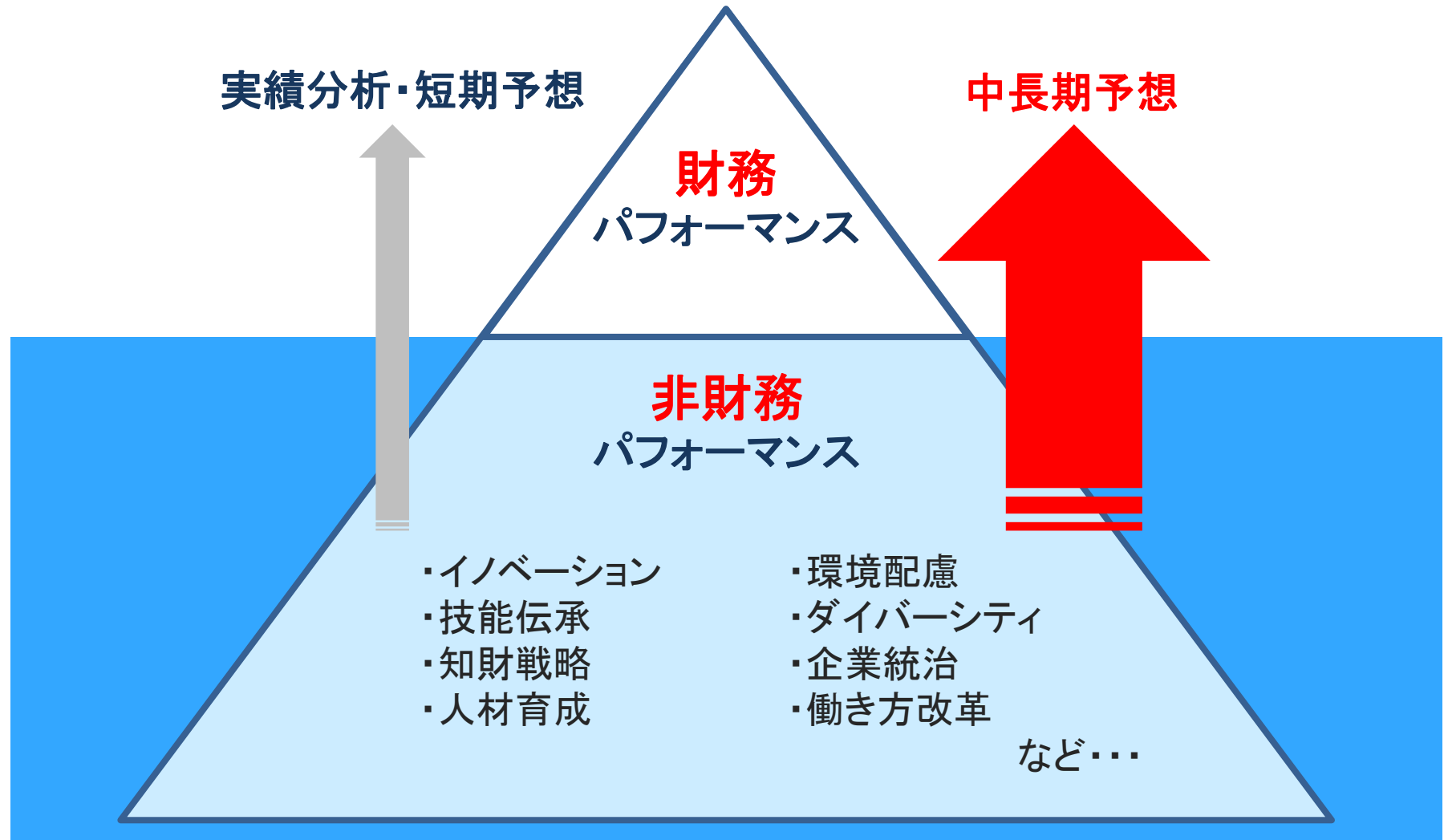
Section 1

ESG投資の拡大と日本の状況

トレンド: ESG投資のメインストリーム化

- 金融危機を契機に、過度のショートターミズム(短期主義)が投資家、企業双方にもたらす弊害に対する認識が拡大。
- 短期間の裁定取引に対するアンチテーゼとして、企業の長期的な成長に着目し、これにコミットする投資家(長期投資家)の重要性を再確認する動き。
- 投資家にとって、企業の長期的な成長にコミットするために必要な情報として、また、企業にとって、こうした長期投資家を惹きつけるために重要な情報として、非財務情報(ESG情報)が位置づけられつつある。この結果、ESG投資のメインストリーム化が進んでいる。

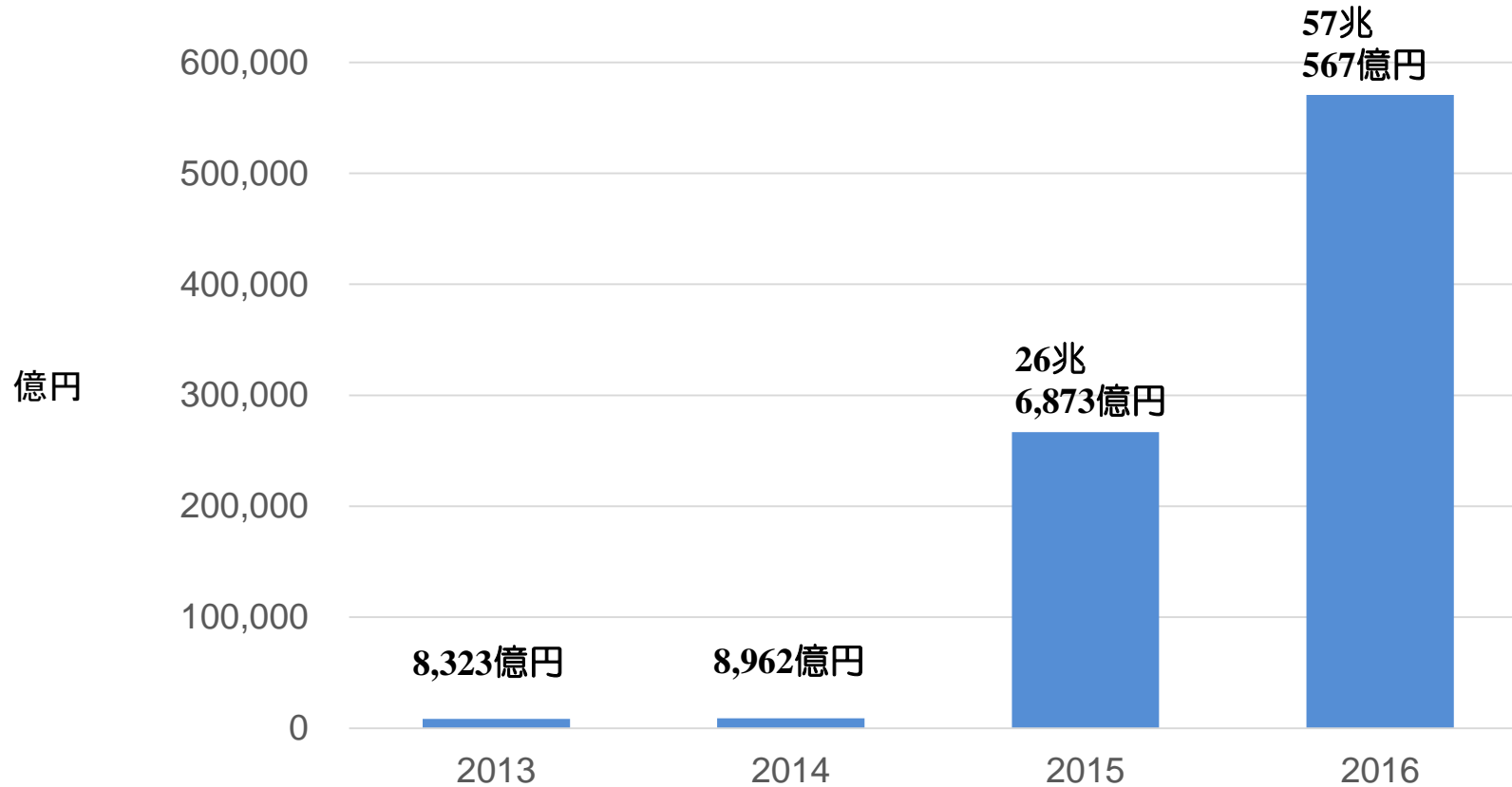
企業価値の源泉



日本の状況: ESG投資への関心の高まりと過渡期ゆえの課題

- 2014/2の日本版Stewardship Codeを機に、これまでSRI/ESG投資に熱心とはいえなかった日本の機関投資家の間でも、非財務情報への関心が高まった。
- 2015/9 世界最大の機関投資家(アセットオーナー)であるGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)がPRI(責任投資原則)に署名し、ESGを重視する姿勢を明らかにしてから、上記の流れが一気に加速。
- 機関投資家の多くが独自のESG評価ツールを持たない過渡期の現在、代替手段としてESG Ratingの影響力が拡大している。現在、多くの情報提供企業は、公開情報により企業の対応を評価する傾向にあるため、今後、ESG情報開示の巧拙が安定株主の確保や企業評価面に影響を与える可能性がある。

日本のサステナブル投資残高の推移



*2014年までは個人投資家向け金融商品残高のみ。2014年より国内機関投資家による投資残高の開示を開始

(出所) 日本サステナブル投資フォーラム (JSIF) <http://www.jsif.jp.net/data>

GPIFの諸原則

【投資原則】

スチュワードシップ責任を果たすような様々な活動(ESGを考慮した取り組みを含む。)を通じて被保険者のために中長期的な投資収益の拡大を図る

【スチュワードシップ活動原則】

(4)投資におけるESGの考慮

- 投資先企業におけるESGを適切に考慮することは、被保険者のために中長期的なリスク調整後のリターンの拡大を図るための基礎となる企業価値の向上や持続的成長に資するものであり、投資にESGの要素を考慮することの意義は大きいと考えられることから、運用受託機関は、セクターにおける重要性、企業の実績等を踏まえて、ESG課題に取り組むこと。
- 運用受託機関は、重大なESG課題について積極的にエンゲージメントを行うこと。
- 運用受託機関は、PRI(責任投資原則)への署名を行うこと。

【議決権行使原則】

〈議決権行使に当たって〉

- 運用受託機関は、ESGを考慮することは中長期的な企業価値向上のために重要であると認識したうえで適切に議決権行使すること。

(出所)年金積立金管理運用独立法人

Section 2

ESG情報としてのSDGs

METI 価値協創ガイダンス(伊藤レポート2.0)



(出所)伊藤レポート2.0(経済産業省)

◆「ビジネスモデル」を通じた競争優位の説明

- ・バリューチェーンにおける差別化
- ・差別化を支える経営資源・無形資産・ステークホルダーは何か？
- ・その強化のためにどのような投資(獲得、資源配分、育成等)が必要か？

稼ぐ力

◆「ビジネスモデル」の持続可能性

- ・最大の脅威は、ビジネスモデルの中核をなす経営資源・無形資産・ステークホルダーとの関係が維持できなくなること
- ・長期的には、企業存続の前提である社会との関係性や受容性をどう捉え、どのように維持し、社会に価値を提供し企業価値につなげていくか？
- ・自社のビジネスモデルの持続可能性／戦略の実現可能性に大きな影響を及ぼす要因は何か？

マテリアリティ

改めて「ESG」とは何か？

◆「ビジネスモデル」の持続可能性

- ・自社のビジネスモデルの競争優位を支える経営資源等は何か？
- ・どのように確保・強化するのか？

→「無形資産」への戦略投資の「見える化」

- ・それが喪失するリスクに対してどのような対策を講じているか？

→ボトルネックの同定と補完・代替策(=BCM的な発想)

- ・中長期的な社会との関係性に影響する、重要な社会課題をどのように戦略に組み込み、ステークホルダーとの関係を構築していくのか？

→社会的課題の認識と「リスクと機会」としての位置づけ

→「価値創造シナリオ」

社会課題をどう取り込むか？

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)



事例：事業との接続（住友化学）

● Sumika Sustainable Solutions (SSS)



住友化学グループは2016年度より、温暖化対策、環境負荷低減などに貢献する製品・技術を“Sumika Sustainable Solutions”として認定することとしました。それらの開発・普及を促進することにより、持続可能な社会を構築するためのソリューションを提供し、SDGsの達成に貢献したいと考えています。

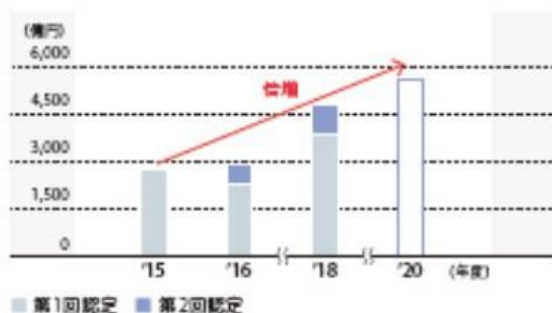
SSS認定要件

- ① 温室効果ガスの排出削減に資するもの
 - ② 気候変動による影響の適応に資するもの
 - ③ 廃棄物・有害物質の削減や環境負荷低減に資するもの
 - ④ 水資源の効率的な利用に資するもの
- ほか5項目

環境負荷低減への貢献量

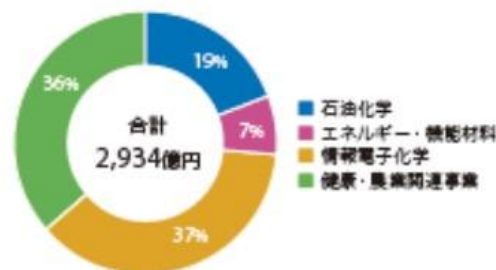
現時点で認定されている製品の売上実績は2,934億円（2016年度）で、製品ライフサイクルを通じた温室効果ガスの削減貢献量は、約5,300万トン（CO₂換算、2020年度予測値）です。

認定製品・技術の売上高推移



これまでに34の製品・技術を認定しており、これらの売上を早期に倍増することを目指しています。

部門別認定製品・技術の売上高比率（2016年度）



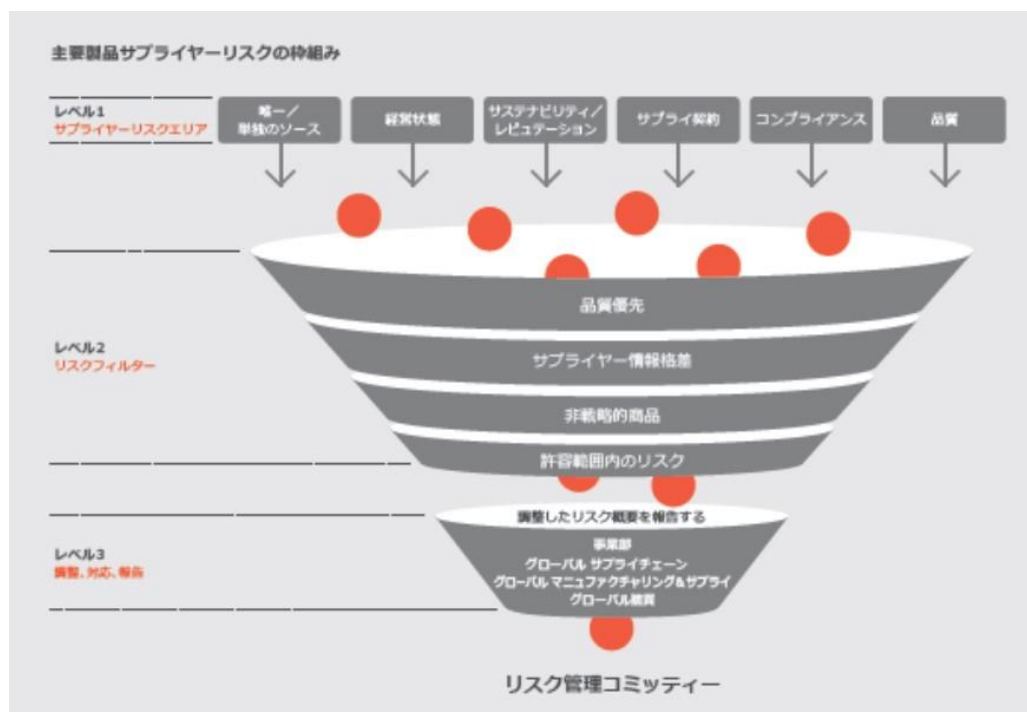
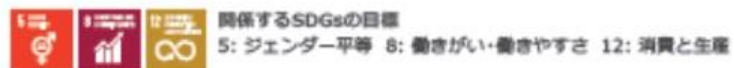
各事業部門紹介ページ(P39, 43, 47, 51)に、認定製品・技術を掲載しています。

（出所）住友化学レポート2017

事例：サプライチェーン管理との接続(武田薬品)

Materiality 2: Supplier Management

重要課題2: サプライヤー・マネジメント



<p>約 3,400</p> <p>2016年度にスタンダード・デリジェンスを実施したサプライヤー</p>	<p>140人</p> <p>従業員数</p>
<p>28社</p> <p>2016年度にオンサイト・サステナビリティ・サプライヤー・アセスメントを実施したサプライヤー</p>	<p>23カ国</p> <p>2016年度に購買研修を実施</p>

(出所) 武田薬品工業 Sustainable Value Report 2017

まとめ

- 「非財務的価値」に着目したESG投資のメインストリーム化が進み、上場企業はもとより、そのサプライチェーンに連なる企業の経営にも大きく影響する局面を迎えつつある。
- 長期投資家が期待する「ESG」情報は、企業の競争優位を支えるビジネスモデルの持続可能性に関するロジック。「自社の強み」をこのロジックで如何に表現してみせるかが重要。
- ポイントは、リスクや事業機会になりうる社会課題を自らのビジネスモデルに落とし込む「事業との統合」という視点。社会課題の解決を成長と同期させ、これを持続可能なものとして示す「価値創造シナリオ」の提示が求められている。SDGsは、このための国際標準ツールとして産業界に広く浸透しつつある。
- その裏返しとして、金融サイドもこうした情報を正しく受け止め、必要なエンゲージメント等につなげる必要がある。直接金融の世界でESG投資がメインストリーム化しつつある現在、間接金融による補完との組み合わせにより、金融市場の効率性がより高まることが期待される。

ご清聴ありがとうございました

ご質問、ご相談等がございましたら、何なりと下記連絡先にお問い合わせください。

連絡先

株式会社日本政策投資銀行

 TEL:03-3270-3211

著作権(C)Development Bank of Japan Inc. 2018

当資料は、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)により作成されたものです。

当資料は、貴社及び当行間で検討／議論を行うことを目的に貴社限りの資料として作成されたものであり、特定の取引等を勧誘するものではなく、当行がその提案内容の実現性を保証するものではありません。

当資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および当行が合理的と判断した一定の前提に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、ここに記載されている内容は、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

当資料のご利用並びに取り組みの最終決定に際しましては、貴社ご自身のご判断でなされますよう、また必要な場合には顧問弁護士、顧問会計士などにご相談の上でお取り扱い下さいますようお願い致します。

当行の承諾なしに、本資料(添付資料を含む)の全部または一部を引用または複製することを禁じます。